

動物実験に関する検証結果報告書

国立大学法人九州工業大学

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2026年3月

2026 年 3 月 16 日

国立大学法人九州工業大学  
学長 三谷 康範 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会  
理事長 小倉淳郎



対象機関：国立大学法人九州工業大学  
申請年月日：2025 年 7 月 28 日  
訪問調査年月日：2025 年 11 月 10 日  
調査員：浅野 淳、下田耕治、加納 聖

#### 検証の総評

九州工業大学は 1909 年に創設された、2 学部、2 大学院学府、1 大学院研究科及び教養教育院を有する国立の工学系大学である。動物実験は、情報工学研究府（飯塚地区）と生命体工学研究科（若松地区）において教育と研究のために実施されている。文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下、「基本指針」という。）」に則した機関内規程及び細則などを定め、各部局の動物実験委員会と全学組織である動物実験専門部会を設置し、動物実験計画に関する審査、教育訓練の実施、実験実施状況の把握など、基本指針に適合した活動を行っている。また、環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下、「飼養保管基準」という。）」に沿った実験動物の飼養保管を行っている。飯塚地区の飼養保管施設は 2025 年度に改修され、より適正な飼養保管環境を構築した点は評価に値する。また、動物実験の実施状況の記録とその保存が徹底されており、適正な実験実施を推進している点も高く評価できる。

現在の動物実験実施体制と実施状況に特段の改善が必要な事項はないので、今後ともその良好な状況を維持することが望まれる。

## 検証結果

### I. 規程及び体制等の整備状況

#### 1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
動物実験に関する規程及び細則として、「九州工業大学動物実験等に関する規程」「九州工業大学動物実験等に関する実施細則」「九州工業大学動物実験専門部会要項」「九州工業大学大学院生命体工学研究科動物実験細則」「九州工業大学大学院情報工学研究院動物実験細則」などが定められている。これらは「基本指針」及び「飼養保管基準」に則している。したがって、機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

#### 2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検・評価の妥当性
全学的な動物実験委員会に相当する組織として動物実験専門部会が設置されている。また、生命体工学研究科及び情報工学研究院には、動物実験委員会がそれぞれ設置されている。動物実験専門部会及び各動物実験委員会の委員構成はいずれも基本指針に則した3要件を満たしている。したがって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。
- 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制を定めていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

規程等により、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等の手続きが定められている。また、動物実験の実施に必要な各種様式も整備されており、基本指針に適合した、適正な動物実験の実施体制が定められている。したがって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。
- 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

放射線を用いる実験、化学物質の管理が必要な実験及び遺伝子組換え実験に関する規程として、「九州工業大学放射線障害防止管理規程」「九州工業大学化学物質管理規程」「九州工業大学遺伝子組換え生物安全管理規則」が定められている。また、感染動物実験については、感染動物実験に関する規程等を整備する間、当該動物実験を禁止することを学長名で通達している。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。

<input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
4) 改善に向けた意見 特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 若松地区及び飯塚地区に、学長により設置が承認された飼養保管施設がそれぞれ1か所設置されている。飼養保管施設には実験動物管理者が指名されており、「飼養保管基準」に沿った「飼養保管の標準操作手順書」が定められている。また、動物の逸走、地震及び火災等の緊急時の対応についても対応計画が定められており、対策マニュアルが整備されている。したがって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ■ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

九州工業大学は2018年度に2回目の外部検証を受検しており、今回が3回目の受検である。飯塚地区飼養保管施設は2024年4月から2025年7月まで改修を行い、より適正な動物実験実施環境を構築したことは特筆すべき事項である。
--

## II. 実施状況

### 1. 動物実験委員会の活動状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
生命体工学研究科動物実験委員会及び情報工学研究院動物実験委員会が動物実験計画の一次審査を実施し、動物実験専門部会が二次審査を担当している。計画審査は対面及びウェブ会議で円滑に行われており、議事録などの記録も適切に保存されている。したがって、動物実験委員会の活動状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

### 2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
全ての動物実験計画に関して動物実験の自己点検票及び動物実験結果報告書が100%提出されており、3Rsの理念を遵守し、適正に動物実験を実施している。学長は動物実験の承認及び動物実験の実施結果の把握を行い、必要な指示を実施している。したがって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。</li> <li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。</li> </ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験計画書に遺伝子組換え実験の学内承認番号の記載欄を設け、関連する委員会の間での情報共有を適切に実施している。感染実験の実施を禁止しており、放射線の管理が必要な実験の実績はない。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。</li> </ul>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</li> <li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li> </ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>各飼養保管施設に実験動物管理者が指名されている。実験動物管理者は施設管理及び保守点検等を実施しており、実験動物飼養保管状況の自己点検票を作成し、動物実験専門部会に提出している。動物実験責任者は、飼養保管の標準操作手順書を用いて実験実施者に飼養保管方法や手順の指導を行い、その説明の記録を動物実験委員会に提出している。実験動物2級技術者の資格を有する技術職員が飼養者として従事している。したがって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li> </ul>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 各地区の動物実験委員会は、飼養保管施設の定期的な視察を実施しており、維持管理に関して把握している。動物実験専門部会は視察結果を審査し、学長に報告している。維持管理上の不具合箇所の指摘及び改善が実施されており、記録保管も適切に実施されている。飼養保管施設や実験室の入退室は適切に管理され、記録も保存されている。したがって、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ■ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 飼養者及び実験実施者に必要な事項を含んだ教育訓練を年度ごとに実施しており、受講者の記録が管理されている。また、各地区の実験動物管理者は（公社）日本実験動物学会の「実験動物管理者等研修会」を受講している。したがって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ■ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

## 7. 自己点検・評価、情報公開

### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

### 2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験に関する自己点検・評価を年度ごとに実施し、その報告書を「動物実験に関する自己点検・評価報告書」「動物実験に関する現況調査票」として取りまとめている。これらは機関内規程、教育訓練の実施状況、実験動物の飼養保管状況、及び過去の外部検証結果報告書とともに大学ウェブサイトで公開されている。したがって、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は妥当である。

### 3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

### 4) 改善に向けた意見

特になし。

## 8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

両地区の飼養保管施設の維持管理、飼育動物の健康管理などの動物実験の実施状況を示す文書が適切に記録及び保存されていることは評価できる。